

令和 7 年度

葛飾区予算案概要

【当初予算案主要事業概要】

モンチャレ

モンチッチと 歩こう！



©SEKIGUCHI

かつしかActiveチャレンジ



健康長寿のまち
葛飾へ！

令和 7 年 2 月

葛飾区



持続可能な開発目標（SDGs）17のゴール

1 貧困  あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。	2 飢餓  飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
3 保健  あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	4 教育  全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
5 ジェンダー  ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う。	6 水・衛生  全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
7 エネルギー  全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	8 経済成長と雇用  包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。
9 インフラ、産業化、イノベーション  強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	10 不平等  各国内及び各国間の不平等を是正する。
11 持続可能な都市  包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	12 持続可能な生産と消費  持続可能な生産消費形態を確保する。
13 気候変動  気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	14 海洋資源  持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
15 陸上資源  陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。	16 平和  持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
17 実施手段  持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。	

Ⅲ 子ども・教育分野

7 子ども・家庭支援

1 母子保健



～安心して妊娠・出産・育児ができるよう、親と子の心身の健康を支えます～

1 囲ゆりかご葛飾の推進【計画】【拡大】（福祉費）

青戸保健センター・子育て政策課・子育て応援課ほか 262百万円

妊娠初期の面談（ゆりかご面接）や乳幼児健康診査など、親と子を支える事業を通して、関係機関と連携しながら、就学前までの継続的な支援を行います。

区民に身近な保健センターや子ども未来プラザ等で、親と子の心身の健康の保持増進を図るための教室・講座等を実施します。また、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うほか、遊びなどの活動の中で気軽に相談に応じます。

7年度は、新たな子育て支援策として、生後5か月から11か月までの乳児を育てる世帯に対して「かつしかハッピーお届け隊事業」を実施します。また、妊娠期からの不安や困りごとを早期に発見し、妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援を推進するため、「こども家庭センター体制強化事業」を開始します。

（1）かつしかハッピーお届け隊事業

対象の育児世帯に対し、定期訪問を行い、子育てに関する悩みや相談を傾聴します。訪問終了後には育児支援品を配付します。支援が必要と判断された世帯については、適切な相談窓口や各種サービスにつなぎます。

訪問実施見込 12,600件

（2）こども家庭センター体制強化事業

8年度からのこども家庭センター機能の整備に向け、サポートプラン作成に係る研修会の実施等により専門職員を育成しつつ、母子保健部門と児童福祉部門が

協働チームで継続して支援する体制を構築します

2 産後ケア事業の充実【計画】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 258百万円

母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み健やかな育児ができるよう、母子とその家族を支援します。

7年度は、サービス内容を分かりやすく整理し、より利用しやすい環境をさらに推進するため、デイケア、乳房ケアを統合し、サービス区分を見直します。

また、区民の出産件数が比較的多い分娩取扱施設を新たに追加するなど、さらに産後ケア事業を充実させます。

3 ベビーカー購入等費用助成事業【拡大】（福祉費）

子育て応援課 57百万円

3歳未満の子どもを育てる家庭に対し、ベビーカー本体等の購入やレンタル費用の一部を助成することで、移動に係る負担軽減や外出の促進を図ります。

7年度は、助成対象者を「3歳未満の多胎児を養育している世帯」から「3歳未満の子どもを1人以上養育している世帯」に拡大するとともに、助成対象品目も「多胎児用ベビーカー本体」に「単胎児用ベビーカー本体及び抱っこ（おんぶ）紐等」を加えることで、子育て世帯への移動支援を充実させます。

対 象 3歳未満の子どもを1人以上養育している世帯

対 象 品 目 ベビーカー本体（単胎児用・多胎児用いずれも対象）、抱っこ（おんぶ）紐、ベビースリング及びヒップシート

補 助 率 1／2

補助上限額 1．5万円／対象児童

2 子育て家庭への支援



～子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにします～

1 園子ども未来プラザの整備【計画】（福祉費）

子育て政策課・保育課 1, 338百万円

子育て支援の拠点となる子ども未来プラザを整備し、妊娠期から成人するまでの全ての子どもとその家庭への支援に取り組むとともに、配慮を必要とする子どもや保護者への支援を充実させます。また、区民に身近な場所で、気軽に相談したり仲間づくりができる環境を整えるとともに、地域団体や行政機関等とのネットワークを構築することで、地域の子育て力向上に寄与します。

(1) (仮称) 子ども未来プラザ小菅

小菅保育園

所在地 堀切四丁目60番（子ども未来プラザ予定地）

小菅二丁目19番1号（仮園舎）

定員 未定（現在の定員102人）

保育内容予定 11時間保育・緊急一時保育・障害児保育

開設予定 未定（公設公営）

(2) (仮称) 子ども未来プラザ白鳥

白鳥保育園

所在地 白鳥三丁目32番（子ども未来プラザ予定地）

西亀有一丁目18番6号（仮園舎）

定員 未定（現在の定員109人）

保育内容予定 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育

開設予定 令和9年度後半（公設公営）

2 **園**使いやすい預かり保育の充実【計画】（福祉費）

子育て施設支援課 617百万円

保育施設における延長保育の実施や、私立幼稚園等における教育時間前後や三季休業中の預かり保育の実施、使いやすい一時保育の仕組みの構築を通じて、多様な働き方への対応はもとより、子どもの集団保育の経験や親のリフレッシュ、レスパイトを目的とした利用など、子どもの最善の利益の実現を図りながら、保育施設利用者、幼稚園利用者、家庭で子どもを保育する保護者、それぞれが使いやすい預かり保育を実現します。

3 **園**就学前教育の質向上の推進【拡大】（福祉費）

子育て施設支援課 121百万円

区内の教育・保育施設を対象に、日常の保育を他園の保育者に見学してもらう公開保育を実施し、前向きな意見やアドバイス等してもらう取組を支援します。公開保育を通じて、公開園は自園の良さや課題を認識し、参加園は自園の保育を振り返るきっかけにするなど、各園が相互に学び合いながら就学前教育の質の向上をめざす取組を推進します。

また、私立幼稚園、認定こども園の特色ある幼児教育の取組を支援し、公私・施設類型の枠組みを越えて好事例の横展開を図るほか、保育所等における乳幼児の興味・関心に応じた探究活動の実践を、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」を活用し支援します。

3 仕事と子育ての両立支援



～仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます～

1 園 総合的な保育充実支援【計画】（福祉費）

子育て施設支援課 503百万円

質の高い保育の提供をめざすため、保育人材の安定的な確保や、保育士の経済的負担軽減の支援により、保育士の働く環境を改善することで人材の定着を図るほか、指導検査の効果的な実施など総合的な保育の充実につながる取組を実施します。

（1）就職フェア・就職相談等の実施

就職フェアの実施、保育士募集パンフレットの作成により、葛飾区で保育士として働く魅力を発信するとともに、就職相談を積極的に実施することで、保育施設への就職を支援し、人材の確保を図ります。

（2）保育士・幼稚園教諭奨学金返済支援事業等

奨学金返済支援事業や宿舍借上支援事業等の実施により、保育士・幼稚園教諭等の経済的な負担を軽減し、葛飾区で働く魅力づくりにつなげることで、人材の確保と定着を図り、保育施設等が充実した保育を実施する支援を行います。

（3）指導検査体制の強化

効果的な指導検査を行うため、保育施設の会計に精通した公認会計士等を活用し、職員へのスキルアップを図るとともに検査の精度を高め、安定した保育運営の支援を行います。

2 園 送迎保育ステーションモデル事業（福祉費）

子育て政策課 53百万円

保育園の送迎時に駅前でお子さんを預かり、保育園へのバス送迎を行う送迎保育ス

テーションを設置することにより、保育園利用者の送迎負担の軽減を図り、子育てと就労の両立を支援します。

送迎保育ステーション

設置場所	カナマチぷらっとキッズスペース
開 所 日	月曜日から土曜日（祝日及び年末年始を除く）
開所時間	朝 午前7時～午前8時 夕方 午後5時～午後8時（午後6時以降は延長時間）
対 象	金町駅以北にある区が指定する園に入所予定又は入所する 1歳～5歳児
定 員	20人
利用者負担額	基本利用 月額2,000円 延長利用 日額400円又は月額6,000円

4 放課後支援



～子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごせるようにします～

1 〔 〕学校施設等を活用した放課後子ども支援事業【計画】【拡大】（教育費）

地域教育課・放課後支援課 639百万円

待機児童ゼロを目指し、学校改築にあわせた校内学童保育クラブの整備をはじめ、緊急対策としての放課後居場所事業「かつしかプラス」の実施校拡大や夏季一時学童保育の受入枠の拡大を進めます。

また、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験ができる環境を整備するため、8年度に向けてより効果的な事業展開の検討を進めます。

7年度は、水元小学校及び二上小学校内に学童保育クラブを整備します。

また、「かつしかプラス」の実施校を4校から8校に拡大するとともに、夏季一時学童保育は2クラブで受入枠を拡大します。

5 子ども・若者支援



～子どもの権利・利益を守り、若者の社会的な自立を支援します～

1 児童相談の充実【計画】【拡大】（福祉費）

子ども家庭支援課・児童相談課 95百万円

複雑化・深刻化する児童虐待や養育困難などの子どもと家庭に関する相談に対して、子ども総合センターが中核となり関係機関とのネットワークを更に深化させ、子どもや保護者一人一人の状況に合わせた支援をこれまで以上に適切かつ迅速に提供します。

また、区民に寄り添う支援を担う子ども総合センターと、子どもの安全確保など法に基づく専門的な支援を担う児童相談所が両輪となって、子どもの最善の利益を確保する体制を強化します。

7年度は、新たな地域でショートステイ・トワイライトステイ事業を実施し、区内2か所で家庭の状況に合わせた支援ができる体制を構築します。

2 里親委託等推進事業【計画】（福祉費）

児童相談課 45百万円

社会的養護を必要とする子どもたちが家庭養育優先の原則のもと里親家庭という選択ができるように、里親制度に関する普及啓発と里親のリクルート活動を行い、里親登録数の向上を図ります。里親の登録に当たっては、葛飾区児童福祉審議会里親認定部会に諮問し、答申を受け、葛飾区里親認定基準に適した里親を認定します。

子どもたちが安心して里親家庭で生活できるように、里親養育包括支援事業を民間フォスターリング機関に委託し、里親を包括的に支援する体制を構築し、里親と子どもを支え、子どもの最善の利益を確保します。里親、外部委員、関係機関職員による里親委託等推進委員会を設置し、里親登録数と里親委託の状況を共有し、適切に事業を実施します。

3 ㊦ 社会的養護経験者（ケアリーバー）の経済的負担に対する支援【新規】（福祉費）

児童相談課 6百万円

社会的養護経験者が自立して生活をするために、必要となる費用の一部を区独自の支度金として支給します。

対 象 者 区内施設・区内里親出身者及び区が措置等をしていた原則 18 歳以上の者で、措置等が解除され、就労・就学を予定し、自立した生活を始める者

補助上限額 20 万円

4 ㊦ 子ども・若者支援体制の充実【計画】【拡大】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 65百万円

子ども・若者の健やかな成長を支えるため、家庭の経済状況や養育環境、ひきこもり状態、孤立など様々な事情を有する子ども・若者やその家族からの相談を受け、関係機関や地域活動団体と連携して適切な支援を行います。

また、子ども・若者の安全・安心な生活を支えるため、高校中退の未然防止、高校中退者・進路未決定者への就学支援等を行うとともに、子どもの学習等の意欲を喚起する支援を行います。

7 年度は、子ども・若者の居場所の現状や課題を的確に捉えるため、子ども・若者

の居場所の需要供給調査を実施します。また、高等学校卒業程度認定試験合格支援講座受講費助成の対象経費に、受験料のほか、無料塾に通う受講者を対象とした交通費や教材費に係る費用を追加します。

5 子育て子ども・若者活動団体支援【計画】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 50百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する子ども・若者（おおむね 39 歳まで）を支援する地域活動団体の活動を支援するとともに、区と地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の健やかな育成を図ります。

6 ヤングケアラー等支援事業【計画】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 1.4百万円

本来大人が担うことが想定される家事や家族の世話などを行っている子どもであるヤングケアラーについて、社会的認知度を向上させるための周知啓発や、ヤングケアラーとその家族への支援を行う団体へ運営費の助成等を通して、相談や支援につながりやすい環境を整えます。また、関係各課と連携し、必要に応じてヤングケアラーの負担軽減に資する支援策の拡充を検討します。

7 婚活支援事業【新規】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 2.0百万円

結婚を希望する方を対象に、出会いや交流の場となるイベントや、婚活に役立つコミュニケーションスキルの向上等を目的としたセミナーを実施します。

また、区内を活動拠点とする営利を目的としない団体が行う婚活イベントに対して、助成を行います。

(1) 婚活イベント等の実施

結婚を希望する20歳以上40歳未満の独身男女（区内在住又は在勤の方を優先）を対象に婚活イベントやセミナーを行います。

(2) 婚活支援事業への助成

区内在住又は在勤の18歳以上40歳未満の年齢層合計10人以上を含む独身男女を対象とした婚活イベントを実施する区内を活動拠点とする非営利団体に対し、事業費助成を行います。

補助率 10／10

補助限度額 30万円（年度ごとに1回に限る）

8 学校教育

1 学力・体力の向上



～学力・体力の向上を図り、子どもたちの生きる力を育みます～

1 **■** 総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～【計画】【拡大】（教育費）

教育指導課 115百万円

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともに、ICTの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めます。

また、ICTを活用した教員の指導力向上や、PDCAサイクルに基づいた授業改善の取組を推進します。

さらに、小学校への学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めます。

7年度は、小学5年生から中学2年生の「読み解く力」を育むことをめざし、新聞記事を教材にしたワークシートを導入します。

また、6年度から実施しているかつしかチャレンジプログラムの取組に、学校での学習をもとにした、「考える」「つくる」「解決する」活動を通して、意欲が高い子どもの学びに向かう力や能力を高める理数分野コースを新設します。

2 園 教育情報化推進事業【計画】（教育費）

学校教育推進担当課 2, 4 2 7 百万円

人工知能（A I）やビッグデータ、I o T等の高度な技術が社会を大きく変えていく中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができるよう、学校におけるI C T環境の充実やI C T推進体制の確保等に取り組み、I C Tを活用した「主体的・対話的で深い学び」や教員の働き方改革等、教育D Xの更なる推進を図ります。

7年度は、児童・生徒用の新しい1人1台タブレット端末を8年4月に配付するため、新端末の調達及び設定作業を進めます。また、校務データを活用して学校や学級の状況をグラフや表などで可視化する校務ダッシュボード機能を校務支援システムに導入し、学校及び学級の運営の更なる充実を図ります。

3 園 体力向上のための取組【計画】（教育費）

教育指導課 6 百万円

子どもの体力の一層の向上のため、引き続き「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、小学1年生の体育の授業において、外部指導員と連携し、基本的な体の動きを楽しく身に付ける「小学校体力向上プログラム」を、中学校の保健体育の授業においては、外部有識者と連携し、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる「中学校体力向上プログラム」を実施します。

4 区かつしかグローバル人材育成事業【拡大】（教育費）

教育指導課 246百万円

本区では義務教育9年間を通して子どもたちに充実した英語教育を提供します。ALTを小学1年生から中学3年生まで配置することで子どもたちが学校生活を通して生きた英語が習得できるように取り組んでいます。また、小学5年生から中学1年生までの全児童・生徒を対象に「TOKYO GLOBAL GATEWAY」での体験型英語学習及び中学2年生の全ての生徒を対象に海外現地学生とのオンライン交流を実践しています。さらに、英語力向上を目指す生徒のために「ブリティッシュヒルズ」におけるイングリッシュキャンプ及び「かつしかチャレンジプログラム English Challenge コース」を実施しています。

7年度は、現在中学2・3年生に対し年1回実施している実用英語技能検定受験料助成の対象を中学1年生まで拡大するとともに、中学3年生については助成回数を年2回へ増やすことで、身に付けた英語を使った子どもたちの挑戦を応援します。

2 一人一人を大切にする教育の推進



～一人一人を大切にする教育を推進し、全ての子どもが楽しく充実した学校生活を送れるようにします～

1 発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実

【計画】 【拡大】（教育費）

学務課・総合教育センター教育支援課 207百万円

教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全ての小・中学校で実施します。また、多層指導モデル（デジタル版MIM）を全ての小学校で引き続き実施します。

7年度は、「クラス支援員」の配置時間を拡大するとともにデジタル教材を導入

し、発達障害等のある児童・生徒が、円滑な学校生活を送れる学習環境を整えます。

また、子どもとの関わり方に困っている保護者向けの「ペアレントトレーニング」の定員を拡大して実施します。

2 Ⅱ日本語指導の充実【計画】（教育費）

学務課・教育指導課・総合教育センター教育支援課 76百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣を身に付ける必要がある子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を実施します。

また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない子ども及びその保護者と教職員との間の意思疎通を円滑に行えるよう、日本語通訳を派遣します。

3 Ⅱ不登校対策プロジェクト【計画】【拡大】（教育費）

学校施設担当課・学務課・総合教育センター教育支援課 114百万円

登校できない状況にある子どもを支援する「ふれあいスクール明石」の運営や教室に入ることができない子どもを支援する「校内サポートルーム」の設置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した支援など、一人一人の状況や課題に応じた様々な支援策を講じ、学校や総合教育センターが家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

7年度は、「ふれあいスクール明石」の受入対象の拡大や不登校児童の登校をサポートする支援員の配置など、様々な支援に取り組みます。

また、「校内サポートルーム」を道上小学校、水元小学校、本田中学校、綾瀬中学校、青戸中学校、高砂中学校及び東金町中学校に開設します。さらに、8年度に向け、5校の開設準備を行います。

4 園いじめ防止対策プロジェクト【計画】（教育費）

教育指導課 6百万円

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、「葛飾区いじめの未然防止・早期発見・早期対応スタンダード」を活用し、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、初動の段階から組織的な対応を行います。

3 教育環境の整備



～いきいきと学校生活が送れるよう、教育環境を整えます～

1 園学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設計画担当課・学校施設担当課・学務課 6,920百万円

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を推進します。

また、改築基本構想・基本計画の策定に当たっては学校別に懇談会を設け、学校や保護者、地域の方々などと意見交換をしながら進めます。

7年度は引き続き改築を進めます。

(1) 水元小学校

所在地 水元四丁目21番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上3階建

延床面積 約7,985㎡

実施内容 既存体育館解体工事

竣工予定 令和9年4月

(2) 道上小学校

所在地 亀有四丁目35番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上5階建
延床面積 約8,783㎡

実施内容 既存校舎解体工事、外構整備工事

竣工予定 令和9年2月

(3) 二上小学校

所在地 東新小岩七丁目18番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約9,341㎡（保育園部分含む。）

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎等解体工事

竣工予定 令和10年6月

(4) よつぎ小学校・四ツ木中学校

所在地 四つ木四丁目8番1号（よつぎ小学校）
四つ木四丁目22番1号（四ツ木中学校）

施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約13,013㎡

実施内容 既存校舎解体工事、仮設校舎建設

竣工予定 令和13年7月

(5) 宝木塚小学校

所在地 宝町二丁目29番23号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建
延床面積 約7,592㎡

実施内容 既存校舎解体工事

竣工予定 未定

(6) 常盤中学校

所在地 金町二丁目 1 1 番 1 号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上 4 階建

延床面積 約 7, 8 2 1 m²

実施内容 新校舎建設工事、既存体育館解体工事

竣工予定 令和 1 1 年 1 月

(7) 柴又小学校・東柴又小学校

所在地 柴又四丁目 3 0 番 1 号 (柴又小学校)

柴又五丁目 1 2 番 1 5 号 (東柴又小学校)

実施内容 改築基本構想・基本計画の策定、基本・実施設計

(8) 東四つ木小学校・中川中学校

所在地 東四つ木二丁目 1 3 番 1 号 (東四つ木小学校)

東四つ木一丁目 3 番 1 号 (中川中学校)

実施内容 基本・実施設計、既存校舎解体工事

(9) 小松南小学校

所在地 新小岩二丁目 2 5 番 1 号

実施内容 改築基本構想・基本計画の策定

2 快適な学校環境の整備 (教育費) 【拡大】

学校施設担当課 4 8 1 百万円

誰もが安心して学校生活を送り、災害時にも高齢者や障害のある方が安心して学校避難所を利用できるよう計画的に学校施設のバリアフリー化や学校トイレの洋式化を推進します。

7年度は、小学校6校にスロープを設置するほか、小学校2校・中学校1校に車椅子使用者用トイレを設置します。

また、小学校9校・中学校7校において和便器の洋式化等を行います。

※P-113 公共施設のトイレ環境整備の推進に一部再掲

3 ④ 修学旅行費・一部副教材費等の無償化（教育費）【新規】

学務課・教育指導課 649百万円

義務教育期間にかかる子育て世帯の経済的負担を軽減し、ゆとりをもって子育てできる環境の充実を図るため、小学5年生の臨海学校のほか、小学6年生の林間学校や中学2年生の移動教室、中学3年生の修学旅行、一部の副教材の費用を無償化します。

9 地域教育

1 学校・家庭・地域の連携



～学校・家庭・地域の連携により、青少年の健全育成を図るとともに、豊かな教育環境をつくれます～

1 ④ 中学校部活動の地域移行【計画】（教育費）

地域教育課 33百万円

生徒の豊かなスポーツ・文化活動の機会の確保に取り組みます。

地域移行のモデル事業を継続し、得られた検証結果を踏まえ、関係団体と区で構成する協議会において、7年度末を目途に中学校部活動の地域連携・地域移行の推進のための基本的な方針を策定します。

また、学校の状況を踏まえ、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置充実を図ります。

7年度は、新宿中学校に加え、中川中学校及び四ツ木中学校の2校合同でモデル事業を実施します。

10 生涯学習

1 区民学習



～多様な学びと交流の機会を整え、自主的な学習活動を支援します～

1 囲学びの機会の充実【計画】（教育費）

生涯学習課 9百万円

あらゆる世代の区民が充実した人生を送るため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を充実させます。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、オンラインによる講座の開催など、ICTを活用した学びの仕組みづくりを進めます。

11 スポーツ

1 スポーツ活動の推進



～区民誰もが多様なスポーツに親しみ、健やかに暮らせる環境をつくれます～

1 囲高齢者の健康づくりの推進【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 8百万円

健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、高齢者が自主的・積極的に安心してス

スポーツを行うことができる環境づくりを推進します。また、スポーツ指導員やスポーツボランティアを養成し、各種教室やイベントで活用を進めることで、高齢者が身近な地域で安心、安全にスポーツに取り組むことができるようにしていきます。

これからスポーツを始める方、日頃からスポーツに取り組んでいる方が自身の体力状況を把握したうえで運動の継続を促すための、体力テスト測定会を実施します。また、高齢者が手軽に取り組めるスポーツプログラムとして、本区の推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの3種目の普及を促進します。さらに、身近な場所で手軽に取り組めるウォーキングを推進するウォーキング・ランニング事業を実施します。

(1) ～測って、知ろう～体力テスト 大規模測定会（奥戸SC・水元SC）

年 2回 各300人

出前形式 年10回程度 各100人

(2) 高齢者推奨スポーツ 体験会（3種目） 年各2回程度

(3) レクリエーションスポーツ 体験会 年1回 300人

(4) ウォーキング・ランニング推進 ウォーキング 年1回 400人

シティロゲイニング 年1回 300人

(5) ランニングステーション事業 ランニング 5教室

ウォーキング 5教室

(6) スポーツ指導員養成講習会 共通科目 年1回 20人

専門科目 年3回 各20人

(7) スポーツボランティア講習会 年2回 各30人程度

2 障害者スポーツの推進【計画】【拡大】（福祉費・教育費）

障害福祉課・生涯スポーツ課 10百万円

障害者が自主的かつ積極的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、パラスポーツ指導員の養成を進めるとともに、年間を通して定期的に水泳やトランポリン等の教室や開放事業を開催するなど、指導員の活動の場を提供します。また、共生社会の実現に向けて、ボッチャやフロアホッケー等、障害がある方もない方も同じルールで一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツの普及、指導員やボランティアの育成を図ります。

7年度は、東京2025デフリンピックを契機として、普及啓発イベントを実施します。

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| (1) 障害者水泳教室 | 年42回 各10人～20人 |
| (2) 障害者スポーツ教室 | 年24回 各20人～40人 |
| (3) 障害者スポーツ指導員養成・活用 | 講義9回・実技4回 20人 |
| (4) 障害者スポーツ普及啓発事業 | 開放事業 2種目 各週1回程度
普及啓発イベント 年1回 |
| (5) フロアホッケー | 大規模大会 年1回 |

3 区民健康スポーツ参加促進事業【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 40百万円

区民のスポーツ実施率を向上させるため、一般社団法人葛飾区スポーツ協会と連携して、スポーツ協会加盟41種目の団体が実施するスポーツ体験教室や大会、指導員養成等について支援します。これにより、区民が様々なスポーツに参加できる機会を提供し、いつまでも健康で過ごせるようにしていきます。

かつしかふれあいRUNフェスタは、地域事業者や地域団体との連携による、おも

てなしサービスの更なる充実をはじめ、家族みんなで参加者を応援することや、ボランティアとして大会に参加することなど、ランナー以外の区民も参加できる葛飾らしいイベントとしていきます。

また、コースの一部公道化の実現に向けて、引き続き検討を進めていきます。

2 スポーツ基盤整備



～区民誰もが安全・快適にスポーツに親しめる環境を整備します～

1 ④スポーツ施設の利用しやすい環境整備【計画】【拡大】（教育費）

生涯スポーツ課 442百万円

スポーツ施設の利便性・安全性を向上させるための改修などに計画的に取り組み、安心して利用しやすい環境整備を進めます。

7年度は、奥戸総合スポーツセンター体育館・陸上競技場照明改修工事、陸上競技場天然芝化工事及び奥戸総合スポーツセンター体育館と温水プール館のトイレ洋式化を実施します。

また、荒川河川敷グラウンドトイレに加え、江戸川河川敷グラウンドトイレについても順次改修を実施します。

（1）奥戸総合スポーツセンター改修

令和7年度 体育館・陸上競技場照明設備改修工事、陸上競技場天然芝化工事、
体育館・温水プール館トイレ洋式化

（2）荒川河川敷グラウンドトイレ改修

令和7年度 改修工事

（3）荒川・江戸川河川敷グラウンドトイレ改修

令和7年度 改修設計

(4) にいじゅくみらい公園運動場テニスコート改修

令和7年度 改修設計

※P-113 公共施設のトイレ環境整備の推進に一部再掲

2 園 スケートボード場の整備【新規】（教育費）

生涯スポーツ課 266百万円

オリンピック競技大会における日本人選手の活躍でスケートボード競技の人气が高まり、区内でも愛好者が増えていることから、区民誰もが安心してスケートボードを楽しむことができる施設を小菅西公園内に整備します。

また、都立水元公園内へのスケートボード場の整備に向けて、東京都との協議や地域住民・スケートボード愛好者からの意見聴取を行い、7年度は基本計画を策定します。